

# 鈴木ひとみ市政報告



ごあいさつ

アメリカとイスラエルによるイランへの攻撃が始まってから、石油や天然ガスの供給への不安が世界中に広がっています。エネルギーだけでなく、プラスチック製品など、私たちの生活が石油に頼っていることに改めて気付かされます。現地では、学校が破壊され、多くの子どもたちが命を失ったと報道されています。ミサイルが飛び、空爆が続く下で人々はどんな思

いで過ごしているのでしょうか。第2次世界大戦の反省から、武力による他国への侵略行為が強く戒められてきたことが、崩れてしまっています。強力な武力を持つ国が力で自国の利益のために他国を攻撃し、市民の命と自主独立を脅かすなど、あってはならないことです。一日も早く戦闘が終結し、誰もが安心して暮らせる世界に戻ることを願ってやみません。

令和8年3月市議会定例会 一般通告質問から

## 財政再建のために 財政再建の道筋は見えているか



館山市役所本館

市の財政を立て直すためには、削減ばかりでなく、歳入を増やす工夫をすることも必要です。市税収入は、市民税と固定資産税が大きな割合を占めています。人口減少が進む中、市税収入を増やすためには、市内経済が活性化し、市民の収入を増やすしかありません。固定資産税は市にとっては安定した収入源ですが、これらを増やすには地価の上昇が必要になります。

令和8年度の当初予算における市税収入は、前年度と比較して個人市民税は約1億8千万円、固定資産税は約5千万円それぞれ増加しています。しかし、これは国全体の物価高によるもので、市民の実収入が増加したわけではありません。

これまで「館山市サテライトオフィス誘致戦略」による新規ビジネスや魅力ある雇用創出、地域経済の振興、市内中小企業への利子補給や半島振興法による館山市産業振興促進計画に基づく税の優遇措置などにより、

民間設備投資の促進を図っていますが、残念ながら目に見えた成果は出ていません。令和8年度は、「クラウドファンディング型企業誘致・起業支援補助金」に1,500万円の予算を計上していますが、効果は未知です。

市は、持続可能な財政運営のために、「公共施設の最適化」「市職員の組織改編とDX(デジタル技術を使って仕事を効率化すること)の活用」を行うとしています。

館山市とかかわる様々な人が「館山市はポテンシャルが高い」と評価しています。温暖な気候と豊かな自然を大切な観光資源として、長年培われた農地から生産される農産物、豊かな海からの海産物を食糧資源として外貨を獲得し、市内経済の活性化を図ることにもっと挺入れすべきではないでしょうか。

また、先日視察で訪れた熱海市のように「別荘税」を徴収し、新たな財源を確保とすることも検討の価値があります。